

## 平成28年度 北翔大学 東日本大震災ボランティアツアー 報告会

実施期間 平成28年8月3日～8月8日 (5泊6日)  
 実施場所 岩手県釜石市  
 受入れ先 三陸ひとつなぎ自然学校 (釜石市内)  
 主催 北翔大学、北翔大学災害ボランティアサークル  
 後援 北翔大学同窓会「淑翠会」

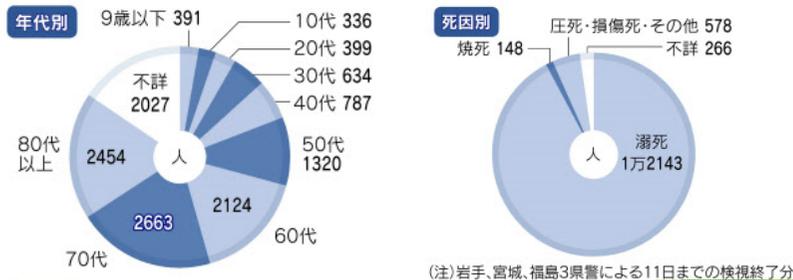
### 報告会

開会のことば  
 参加者代表挨拶  
 同窓会長挨拶  
 サークル顧問挨拶  
 閉会のことば

## ツアー参加者名簿

- ▶ スポーツ教育学科4年 穂田 眞、石坂 聖斗
- ▶ スポーツ教育学科3年 阿部 寛行、鈴木 章大、高松 鴻太
- ▶ スポーツ教育学科1年 丸 和矢
- ▶ 健康福祉学科2年 鈴木 耕治、千田 佑太郎
- ▶ 教育学科3年 蛭名 千晴、田中 美有
- ▶ 教育学科2年 高橋 春菜、高森 愛良
- ▶ 心理カウンセリング学科2年 本間 悠花、番場 麻友美
- ▶ ライフデザイン学科2年 藤後 早輝、
- ▶ ライフデザイン学科1年 大堀 香苗

## 東日本大震災における死者の年代別、死因別 内訳



県名	死者数	行方不明者数	死者+行方不明者数	2010国調人口	死者+行方不明者数 / 人口
北海道	1	0	1	5,507,456	0.00%
青森県	3	1	4	1,373,164	0.00%
<b>岩手県</b>	<b>4,673</b>	<b>1,124</b>	<b>5,797</b>	<b>1,330,530</b>	<b>0.44%</b>
宮城県	9,541	1,236	10,777	2,347,975	0.46%
山形県	2	0	2	1,168,789	0.00%
福島県	1,613	197	1,810	2,028,752	0.09%
東京都	7	0	7	13,161,751	0.00%
茨城県	24	1	25	2,968,865	0.00%
栃木県	4	0	4	2,007,014	0.00%
群馬県	1	0	1	2,008,170	0.00%
千葉県	21	2	23	6,217,119	0.00%
神奈川県	4	0	4	9,049,500	0.00%
<b>合計</b>	<b>15,894</b>	<b>2,561</b>	<b>18,455</b>		-

市町村名	死者数	行方不明者数	死者+行方不明者数	2010国調人口	死者+行方不明者数/人口
陸前高田市	1,602	205	1,807	23,302	7.75%
大船渡市	419	79	498	40,738	1.22%
<b>釜石市</b>	<b>993</b>	<b>152</b>	<b>1,145</b>	<b>39,578</b>	<b>2.89%</b>
大槌町	854	423	1,277	15,277	8.36%
山田町	687	148	835	18,625	4.48%
宮古市	474	94	568	59,442	0.96%
岩泉町	10	0	10	10,804	0.09%
田野畑村	17	15	32	3,843	0.83%
普代村	0	1	1	3,088	0.03%
野田村	39	0	39	4,632	0.84%
久慈市	3	2	5	36,875	0.01%
内陸市町村	33	5	38	-	-
合計	5,131	1,124	6,255	-	-

### 3. 1 1 当時の釜石市 被災状況



### 3. 1 1 当時の釜石市 被災状況



### 3. 1 1 当時の釜石市 被災状況



### 3. 1 1 当時の釜石市 被災状況



### 仮設住宅の現状、将来

・震災当時 116600件  
現在 52016件

・2016年 6割  
2017年 9割  
2018年 10割

みんな自分の家  
で暮らす！

### 仮設住宅



### 仮設住宅



## 住宅建設の3つの条件

- ①地面のかさ上げをすること
- ②14.5mのスーパー堤防が完成すること
- ③学校が完成すること



## 《復興まちづくり基本計画》

- ▶ 釜石市は**被災後の復興計画**の主要施策のひとつに「将来の希望をつくる個性的な取り組みの推進」を掲げ、市民の賑わいを呼び込みうるスポーツ大会の開催の可能性を模索
- ▶ 2019年に日本開催が決まっている**ラグビーワールドカップの試合を誘致すること**を目指した取り組みを推進
- ▶ **ラグビー**が盛んな街であったことから、鶺住居小学校・釜石東中学校跡地に防災機能を有するスポーツ公園を整備し、公園内に整備する（釜石鶺住居復興スタジアム）

2日目

# くりりん祭



## くりりん祭 とは？

こども達に、くりりんの森で遊びを通して北翔大学の学生と交流し、夏休みの思い出をつくってもらおう企画。



## くりりん祭で私たちがしたこと

- ▶ こどもたちと一緒に くりりんの森 で自然の中でできる遊びをする。
- ▶ こどもたちが楽しむことを一番に考える。



- ・手つなぎ鬼
  - ・宝探し
  - ・障害物競走
  - ・だるまさんがころんだ
- の4つの遊びで  
わたしたち大学生たちと一緒にあそびました！



お昼ごはんには  
北海道といえば・・・ということで  
長沼のジンギスカンをふるまいました！



## くりりん祭で私達を感じたこと

- ▶ 自然であそぶこと
- ▶ 笑顔
- ▶ 感謝



素敵な夏の思い出になりました！



## 3日目 「釜石よいさ」

### 釜石よいさ

▶ **釜石よいさ**とは？

釜石市の伝統的なお祭り

釜石市のある青葉通りという道路を踊りながら練り歩く。

震災後一時はお祭りの開催を見合わせていたが、市民の声により再開。北翔大学は再開当初からボランティアとして参加。

今回私たちは、当日と後片付けのボランティアをしました。



### 釜石よいさ

当日

お祭りの準備や、**避難路の確認**、終わった後はテントの片づけなど。

避難路の確認をなぜするのか・・・

└震災後にお祭りが再開しボランティアが県外からもたくさんのボランティアが来るようになった。

お祭りの最中に地震が来たとしても、ボランティアを含めた全員の命が助かるように毎回避難路を確認する。

### 釜石よいさ



お祭りが始まる前は、花壇の周りのロープ張りやごみ箱の設置などのボランティア、お祭りの最中には沿道警備などのボランティアをしました。

## 釜石よいさ



参加チームの方々に誘われて最終的には私たちも踊ってきました!!

## 釜石よいさ



お祭りが終わった後には、テントの撤収作業をメインに手伝ってきました。  
釜石よいさ実行委員の方から、「北翔大学のおかげで早く片付けも終わって助かったよ。また来年もお願いね。」というお言葉をいただき、とてもうれしかったです。

笑顔のあふれるお祭りになりました

!!



4日目 「海浜清掃」

## 根浜海岸



私たちは、根浜海岸に咲いているハマボウフウという植物の咲いている場所の雑草抜きをしました。

## なぜ雑草抜きをするのか？

- ・震災前の大自然を取り戻すために
- ・根浜の人は自分達にできることを探し立ち上がりました
- ・この日はとても暑く、明海大学さんと一緒に無数にある雑草を少しでも減らそうと頑張りました



## 変化

- ▶ この写真は三年前の根浜海岸と現在の根浜海岸です。見て分かる通り綺麗になっています。海水浴を楽しんでいる家族がいて、入れる海にまでなったんだと感動しました。復興が進んでいることをとても身に染みて感じました。



空き時間に私たちも海に入りました。水が澄んで綺麗でした。

## 最後に

- ▶ 津波で失われた根浜海岸が自然に再生するには少なくとも360年かかると言われています。この活動を通して見たこと、感じたことを多くの人に伝え、少しでも震災前の根浜海岸を取り戻すための力になれば良いと思います。

